

9つのプロジェクトで、ふくしまをもっと元気に！

# 2020ふくしまナイン

～ 令和2年度の主な事業 ～

## ① 安全安心なまちづくり

- 防災情報配信システム整備事業 …… 4億2,909万円  
(複数の手段で情報発信を行うことにより、防災情報の発信力を強化)
- 水害対策パッケージ …… 4億241万円  
(護岸や道路側溝の整備、ハザードマップの周知・活用)
- 除去土壌搬出等推進事業 …… 98億3,600万円  
(除去土壌の仮置場への搬出の推進、中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復)
- ごみ減量大作戦第2弾 …… 1,873万円  
(ダンボールコンポスト講習会、古着の回収など)

計23事業 119億6,484万円

## ② 古閑裕而を活かしたまちづくり

- 古閑裕而記念館魅力発信事業 …… 1億1,990万円  
(館内展示のリニューアル、「エール」放映終了後のアフターイベント開催など)
- 古閑裕而記念音楽祭、まちなか音楽祭の開催 …… 2,320万円  
(記念音楽祭と屋外でのまちなか音楽祭の開催)
- 「古閑裕而ゆかりのまちサミット」の開催 …… 1,500万円  
(氏の功績や音楽を活かした新たな都市間交流)
- 古閑裕而メロディーパス実証運行事業 …… 660万円  
(おもてなしと福島らしさをアピールするメロディーパスの実証運行)
- 「古閑裕而のまち・ふくしま」まちなか回遊事業 …… 300万円  
(古閑裕而ストリートの周辺に「古閑裕而まちなか青春館」を設置し、商店街への回遊を図る取り組みに対する補助)

計9事業 2億1,490万円

## ③ 子どもたちの未来へ

- 子ども・子育て新ステージ2020推進事業 …… 4億7,972万円  
(特色ある幼児教育・保育に対する補助、給食への本市産農産物の使用拡大、給食費の負担軽減等)
- 待機児童対策推進パッケージ …… 6億7,289万円  
(保育の受け皿の拡大、保育士の確保、保育の質の向上を図り、待機児童解消と保育環境整備を推進)
- 放課後児童クラブの運営 …… 6億717万円  
(放課後児童クラブを増設し、児童の健全育成を推進)
- ICT教育フューチャービジョン関連整備 …… 15億9,488万円  
(1人1台の端末設置など、学校のICT環境を整備)

計19事業 142億2,826万円

## ④ 「健都ふくしま」の創造

- 健都ふくしま創造事業 …… 3,113万円  
(地域や職場から、市民主体の健康づくりを推進)
- がん検診・がん検診推進事業 …… 7億465万円  
(がん検診の自己負担一部無料化、受診の再勧奨)
- 「高齢者の元気」の創造 …… 6億3,352万円  
(高齢者生涯活躍プロジェクト、健診データを活用した保健指導、公共交通機関の利用促進等)

計13事業 21億8,854万円

## ⑤ まちのにぎわいと活力

- ふくしま花回廊推進事業 …… 360万円  
(本市観光のシンボル「花観光」を推進)
- 地域振興施設「道の駅」整備事業 …… 20億7,321万円  
(「道の駅」の建築・外構工事、敷地内の「屋内子ども遊び場」の整備)
- 新規創業者等支援事業 …… 1,197万円  
(新規創業者への出店支援と経営指導)
- 農業就業拡大推進事業 …… 503万円  
(就農時初期費用や研修費用の一部助成)

計31事業 30億1,595万円

## ⑥ 風格ある「県都ふくしま」

- 風格ある県都を目指すまちづくり事業 …… 5,652万円  
(福島駅前交流・集客拠点施設や市役所本庁舎の新しい西棟の整備)
- 福島圏域連携強化推進事業 …… 325万円  
(近隣市町村との連携事業やシンポジウムの実施)
- 移住・定住推進パッケージ …… 5,404万円  
(移住応援サポーターによるきめ細かい移住・定住支援、本市の魅力や情報の積極的発信)
- シティセールス重点パッケージ …… 1億334万円  
(新たなまちづくりの方向性などを広く発信し、関係人口の拡大を推進)

計24事業 35億8,089万円

## ⑦ 誰にでもやさしい共生社会の推進

- バリアフリー推進事業 …… 2,497万円  
(まち歩き点検やバリアフリーの普及啓発)
- 手話言語条例関連事業 …… 153万円  
(手話出前講座、手話奉仕員養成講座などの開催)
- 外国人生活相談事業 …… 573万円  
(外国人生活相談窓口を開設し、在住外国人を支援)

計8事業 4,340万円

## ⑧ 市政運営の新ステージ

- 「第6次福島市総合計画」の策定 …… 1,227万円  
(令和3年度から5カ年間の新しい総合計画を策定)
- 市民サービスの向上 …… 1億1,124万円  
(多様な情報発信、市税収納のキャッシュレス化、マイナンバーカードの交付と利用の促進)

計15事業 1億5,321万円

## ⑨ オリンピック・パラリンピックと遺産の創出

- スポーツによるまちづくり …… 8億2,642万円  
(スポーツ施設の整備、スポーツ関連のワンストップ窓口である「スポーツコミッション」の設立)
- オリパラを契機とした健康づくり …… 2,169万円  
(パラスポーツの振興、受動喫煙対策)

計13事業 12億7,190万円

令和2年度 会計別予算額

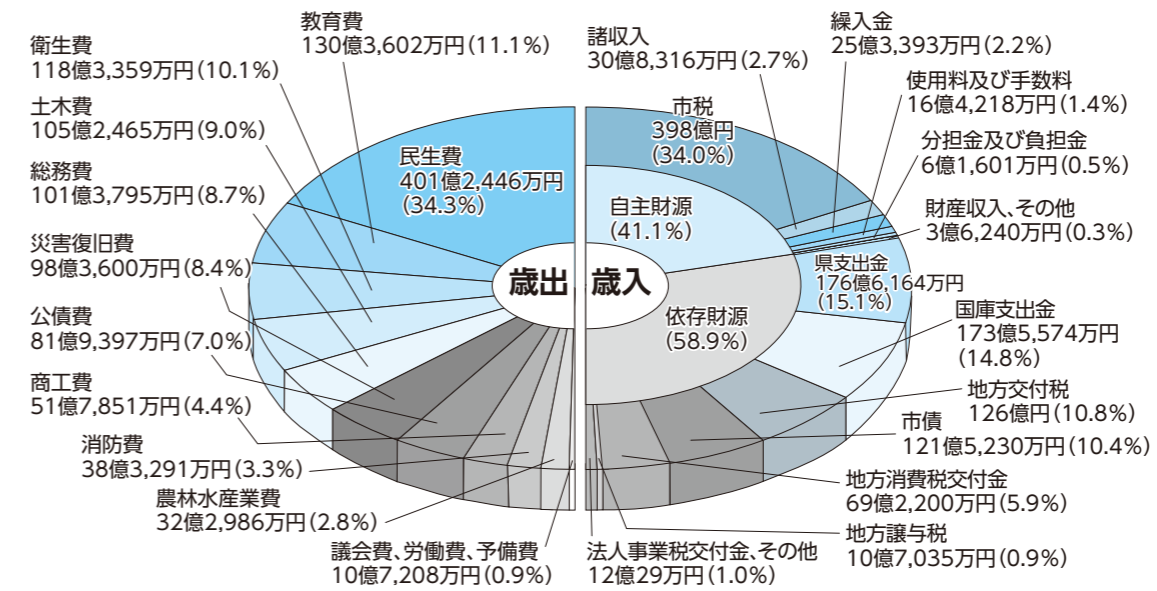
会計名	当初予算額	対前年度増減率%
一般会計	1,170億円	△ 5.2%
国民健康保険事業	234億443万円	△ 2.0%
飯坂町財産区	1億575万円	12.2%
公設地方卸売市場事業	2億1,233万円	1.8%
特別会計		
土地区画整理事業	7,883万円	△ 71.5%
介護保険事業	271億7,787万円	4.4%
庁舎整備基金運用	10億150万円	0.0%
後期高齢者医療事業	37億4,051万円	7.4%
青木財産区	185万円	0.1%
工業団地整備事業	460万円	△ 99.6%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,359万円	△ 16.7%
小計	557億4,126万円	△ 0.5%
水道事業会計	112億4,961万円	0.9%
下水道事業会計	125億339万円	△ 2.3%
農業集落排水事業会計	2億8,725万円	△ 4.4%
計	1,967億8,151万円	

令和2年度予算の総額は1,967億8,151万円になりました。予算編成にあたっては、将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生のため、施策事業を積極的に展開する予算を編成しました。

一般会計の予算額は1,170億円で、前年度に比べると、64億5千万円、5.2%の減になりましたが、除染関連事業費を除いた予算額は1,066億7,180万円となり、昨年度を上回る過去最高の積極型予算です(各会計の詳細は左表参照)。

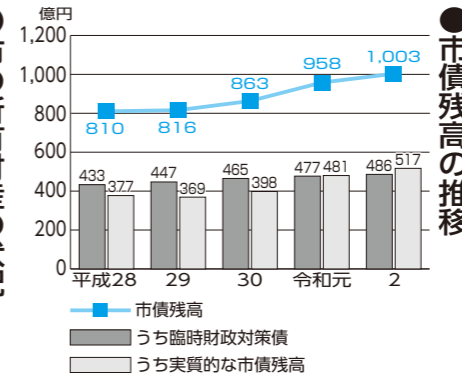
問/財政課 ☎525-3704

## 一般会計 1,170億円



資産	面積/台数	金額
土地	10,638,936㎡	
山林・原野	17,122,879㎡	
建物	982,342㎡	
車両	494台	
証券その他権利		277億1,300万円
基金		277億7,600万円

●市の所有財産の状況 (平成31年3月31日現在)



- 一般会計とは？ 福祉や教育、土木などの一般的な事業に使われ、市の事業の大部分を賅っている予算のこと。
- 特別会計とは？ 特定の事業ごとに分けた方が効率がよいものを、一般会計から切り離して経理する予算のこと。
- 自主財源とは？ 市税や使用料、手数料など、市が自主的に収入できる財源のこと。
- 依存財源とは？ 地方交付税や国・県支出金など、国や県により額が定められ、交付または割り当てられる財源のこと。

財政公表 福島市 ふくしまから世界にエールを！ 令和2年度当初予算